ハンドマイク街頭演説原稿例　自民党・高市新総裁

二〇二五年十月十日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　自民党は先日、高市早苗さんを新しい党総裁に選出しました。初めての女性の総裁であり、自民党はイメージ刷新をはかるとともに、参院院選挙で失ったとされる「岩盤保守層」からの支持を取り戻すことに期待をかけて高市さんを選出したと言われています。では、高市新総裁によって、今までの自民党政治が大きく変わることは期待できるのでしょうか。むしろ、高市さんは「昔の自民党」そのものを体現する人物だと言わざるを得ません。

　高市さんは新総裁就任の記者会見で、「自民党の景色を少し変えられるのではないか」と話しました。ところが、党総裁として最初に行った自民党執行部の人事では、自民党内で唯一残る派閥のリーダー、麻生太郎さんを副総裁にすえるとともに、麻生派の議員を重用しました。さらに、裏金問題で政策秘書が略式起訴されたばかりの萩生田光一衆議院議員を幹事長代行という重要ポストに就けました。今でも国民の怒りがおさまっていない裏金問題を決着ずみとし、総裁選挙の「論功行賞」でポストを配分する派閥政治の復活では、自民党の景色は変わるどころか、古い景色へ逆戻りではないでしょうか。

　みなさん、自民党の高市新総裁は、政治路線でも自民党政治の二つのゆがみをいっそう深めようとしています。

　高市さんは自身を安倍晋三元首相の継承者だとして、金融緩和などの経済政策「アベノミクス」を引き継いで大企業を後押しする姿勢です。安倍政権のもとで、大企業や超大金持ち層が利益をどんどん増やす一方、働く人たちの賃金は上がらず、日本経済は低迷しました。同じことを繰り返しても、国民の暮らしは良くならないのではないででしょうか。

　安全保障や外交政策でも、「日米同盟絶対」の軍事一辺倒で、日本を戦争する国に変える憲法改定を目指す姿勢も安倍元総理を引き継いでいます。戦前の日本によるアジアなどへの侵略戦争と植民地支配を美化する歴史観も、安倍さんから引き継いでいます。

　高市さんはこれらに加えて、国民のプライバシーを監視する「スパイ防止法」の制定や、外国人問題での規制の強化などを打ち出しています。高市新自民党総裁のもと、憲法改定をめざす勢力や極右・排外主義の勢力が結びつけば、日本の政治がより危険な方向に向かう危険があります。

　みなさん。日本共産党は、より危険な政治の流れを断ち切り、これまでの自民党政治を変えて新しい政治を実現するため、引き続き全力で取り組みます。日本共産党へのご支持、ご協力をよろしくお願いします。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、自民党の裏金問題を最初に取り上げました。十月からは、週一回発行の「日曜版」の電子版が新始まりました。この機会に「しんぶん赤旗」をぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）